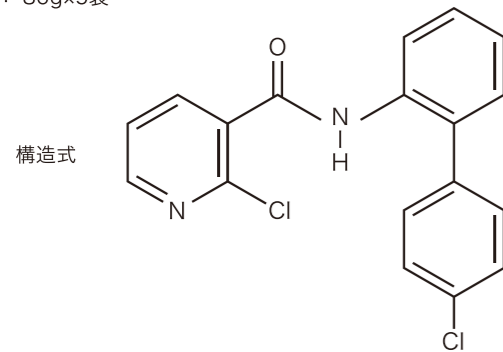


## 成分・性状・物理化学的性質・規格

種類：ポスカリド水和剤  
 成分：ポスカリド・・・70.0%  
 化学名：2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド  
 性状：褐色水和性細粒  
 規格：80g×5袋



## 人畜・環境への高い安全性

## 人畜毒性(製剤):普通物

LD <sub>50</sub> (ラット、経口)	2000mg/kg以上
LD <sub>50</sub> (ラット、経皮)	2000mg/kg以上
LC <sub>50</sub> (ラット、吸入)	5.4mg/L以上(4時間)

## 魚毒性(製剤):A類相当

コイ	LC <sub>50</sub>	(96時間)	420mg/L
ミジンコ	EC <sub>50</sub>	(48時間)	1000mg/L以上
藻類	EbC <sub>50</sub>	(0-72時間)	45mg/L

## 有用生物への影響

ミツバチ、キクヅキコモリグモ、タイリクヒメハナカメムシ、ヒメアメンボ、ヤマトクサカゲロウ、キイロタマゴバチ、ミミズへの影響は認められません。

## 適用病害と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ポスカリドを含む農業の総使用回数
芝 (ベントグラス)	ダラスポット病	1200~1600倍	100L/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内
	炭疽病	6000倍	500L/10a				
芝 (日本芝)	カーブラリア 葉枯病	3000~4000倍	250L/10a				
		6000~8000倍	500L/10a				

## 使用上の注意事項

- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合には、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害をおよぼさないよう注意してください。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

2011.12/5K(DD)\_8000-05

販売取扱店

## BASFジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階  
 ☎0120-014-660 ホームページ <http://www.basf-agro.co.jp>

**BASF**  
The Chemical Company

芝生用/殺菌剤 ポスカリド顆粒水和剤  
エメラルド®DG

- 効果が長続きする
- 日本芝および寒地型芝草への安全が高い
- 低薬量で高い効果
- 低水量散布器具にも対応

**E** エメラルド®DG  
**merald**®DG



For professional greenkeepers.

# ダラースポット病、カーブラリア葉枯病、炭疽病を未然に防ぎ、グリーンをずっと美しく。

## 効果的にお使いいただくための5つのポイント



病害の発生前に  
予防散布することで、  
防除効果が最大に



耐性菌の出現防止のために、  
ゼロローテーション散布を



激しい降雨が予想される場合は  
使用を避けてください



均一散布を心がけて  
ください

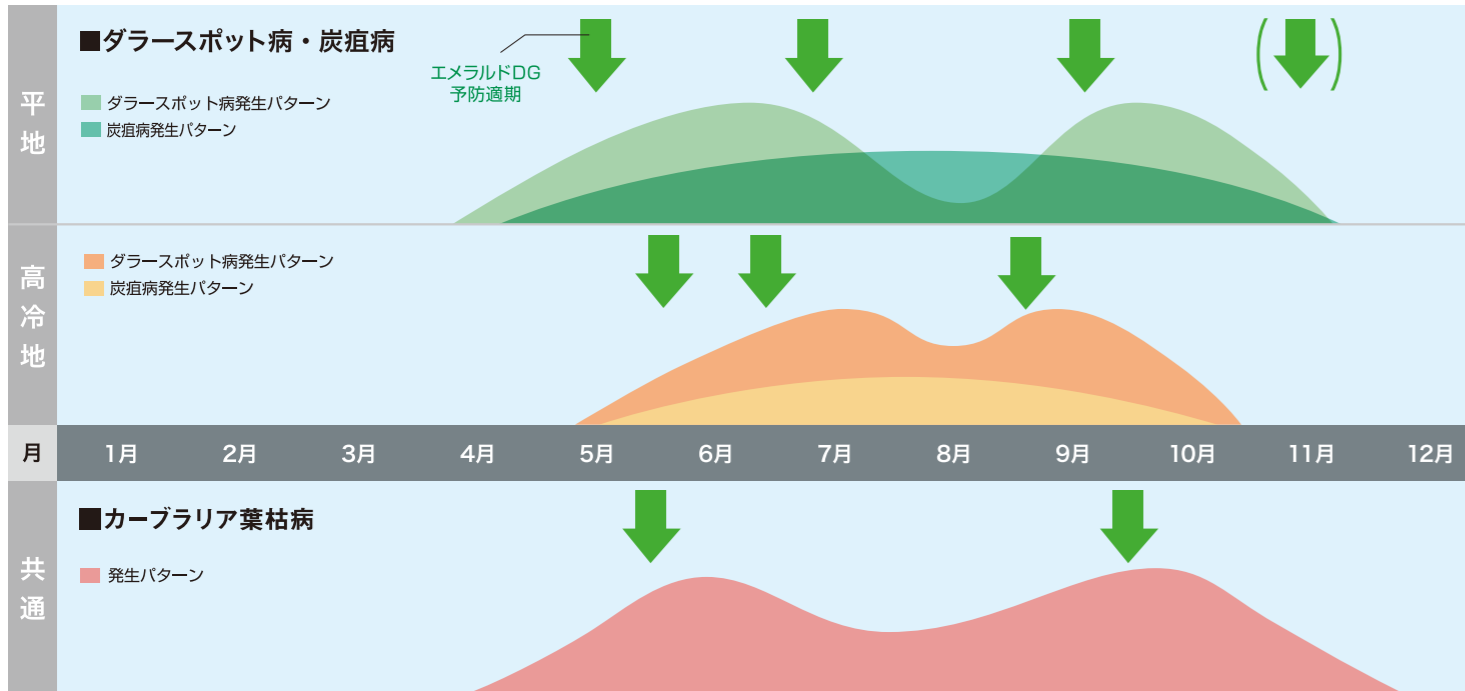


薬量・水量は必ず  
所定の範囲内で

### 選ばれている特長 | 1 |

- ・発病前散布で効果を発揮。優れた予防効果
- ・長期残効性により、ゆとりあるローテーション散布が可能

<病害の発生と予防適期>



### 選ばれている特長 | 2 |

- ・寒地型芝に影響がない
- ・グリーンに最適
- ・日本芝に対しても安全

<ベントグラスに対する影響> (2005年、圃場試験)

薬量 (g/m <sup>2</sup> )	水量 (L/m <sup>2</sup> )	散布日	薬害	
0.083 0.167 0.333	0.5	6/10	薬害無し	
		7/1		
		7/28		
0.083 0.167 0.333	0.25	7/1		
		0.1		7/1

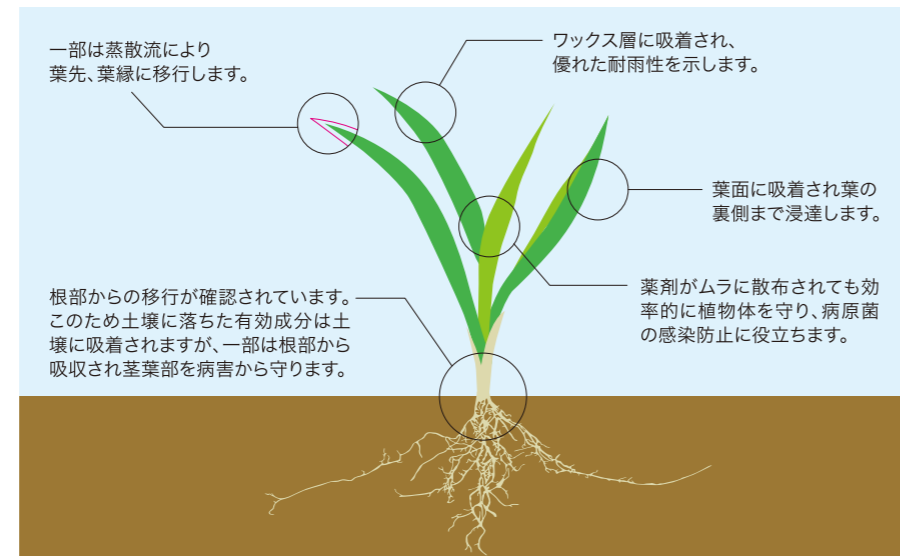
<コウライシバに対する影響> (2005年、圃場試験)

薬量 (g/m <sup>2</sup> )	水量 (L/m <sup>2</sup> )	散布日	薬害
0.083 0.167 0.333	0.5	6/10	薬害無し
		7/1	
		7/28	

### 選ばれている特長 | 3 |

- ・菌の細胞内に作用し菌糸も抑制
- ・ムラが生じてでも感染を防止

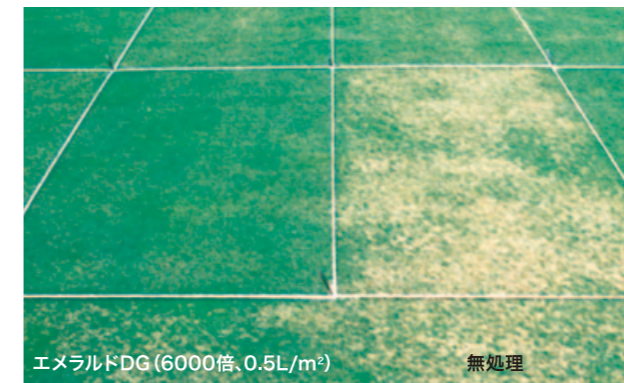
<浸透性および移行性>



### 選ばれている特長 | 4 |

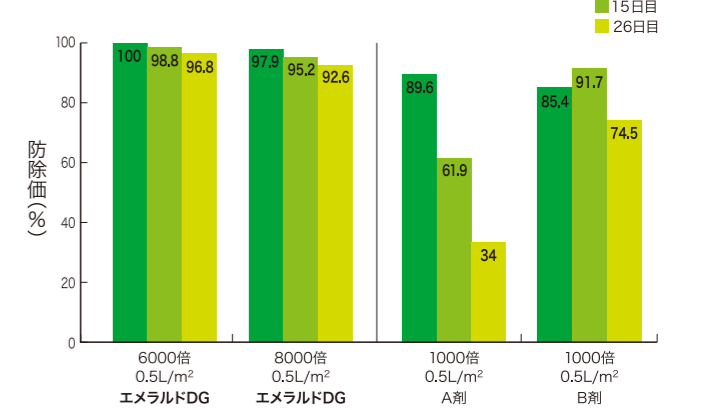
- ・グリーンの三大病害に抜群の効果

#### ダラースポット病に対する効果

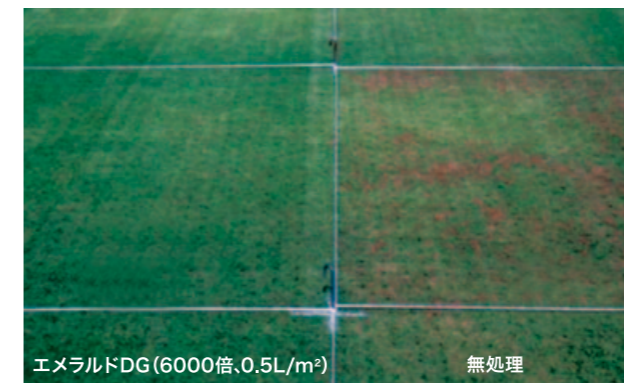


ダラースポット病防除効果 (2004年)

<エメラルドDGのダラースポット病防除効果> (2003年、圃場試験)

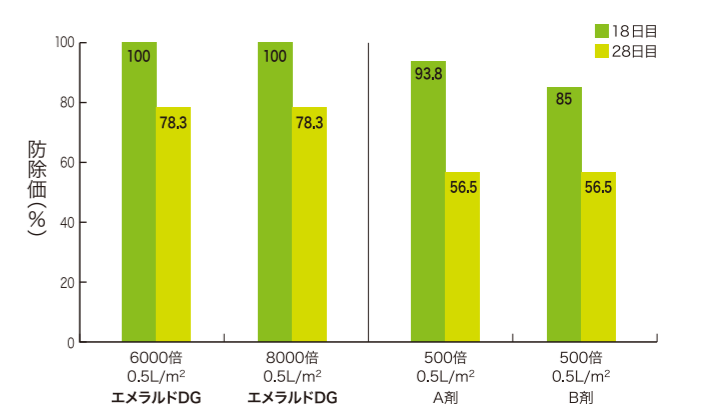


#### カーブラリア葉枯病に対する効果

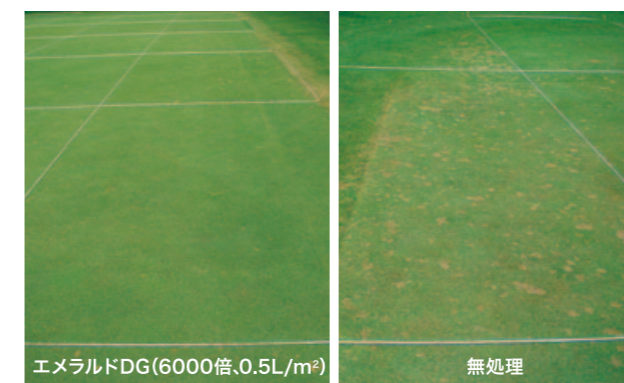


カーブラリア葉枯病 (犬の足跡) 防除効果 (2003年)

<エメラルドDGのカーブラリア葉枯病 (犬の足跡) 防除効果> (2004年、圃場試験)



#### 炭疽病に対する効果



炭疽病防除効果 (2008年)

<エメラルドDGの炭疽病防除効果>

薬剤	発病面積率 (%)			防除値 (%)	薬害
	処理直前 (4/21)	第1回処理 22日後 (5/11)	第2回処理 31日後 (6/18)		
エメラルドDG 6000倍 0.5L/m <sup>2</sup>	0.5	0.5	0.0	100	—
A剤 500倍 0.5L/m <sup>2</sup>	1.0	0.5	0.0	100	—
無処理	0.5	7.5	17.5	—	—

2004年度日植防委試験 (財) 関西グリーン研究所

薬剤	パッチ面積率 (%)			防除値 (%)	薬害
	6/21	6/28	7/7		
エメラルドDG 6000倍 0.5L/m <sup>2</sup>	15	2.5	0	100	—
A剤 500倍 0.5L/m <sup>2</sup>	10	0	0	100	—
無散布	10	10	20	—	—

2005年度日植防委試験 香川大学